



# 校長室だより

第6号 平成26年1月7日発行

大隅東小学校長 豊田 雅弘

<http://swa.city-osaka.ed.jp/weblog/data/e651424>

## 新年あけましておめでとうございます

已年から午年へ。新たな気持ちで新年を迎えたことだと思います。学校は、今日1月7日が3学期の始業式。子どもたちにとっては、昨年よりも2日間短くなった12日間の冬休みでした。

今日、子どもたちの元気に登校してくる姿から、新たな決意をもって2014年を迎えた様子が伺え、うれしく思っています。

この年末年始は、各ご家庭ではどのようにお過ごしになりましたか。年末（2学期終業式）では子どもたちに、「事故に十分に気をつけるように」また「家のお手伝いや仕事の一部を担うように」と話しました。ご家庭の皆様には、『校長室だより第5号』で、「家庭の仕事の一端を担わせることによって、家族の一員としての自覚が芽生え、それが責任感にもつながり、社会の中でも存在感を味わえることになります。そのときに、『○○してくれて、ありがとう。ずいぶん助かるわ』というような声かけをしていただくと、自己有用感、ひいては自己肯定感や自尊感情にもつながっていきます。それが本校の課題の一つでもあります「自尊感情」を育てるのにも絶好の機会です。」と書かせていただきました。ご協力いただきましてありがとうございました。しかし、これらることは、冬休みに限ったことではありません。子どもたちに自覚を与えるきっかけにしていただき、継続させていただくことが、子どもたちの成長において大きな成果をあげることにつながりますので、今後も是非ともよろしくお願ひします。

## 新年の目標・決意はいかに

これも2学期の終業式で、子どもたちに話し、宿題としていたことがあります。それは、「今年の目標を早く決める。そして、一日も早くそれに取り組もう」ということです。子どもたちは、どんな目標を立てたのでしょうか。聞くのが樂しみです。

もし、まだ定まっていないようでしたらご家庭でも後押しをしてあげてください。そして、目標に向かってがんばれるよう、そのことについてもお話し合いをしていただければ幸いです。

目標がなければ、成果はあがりにくいものです。